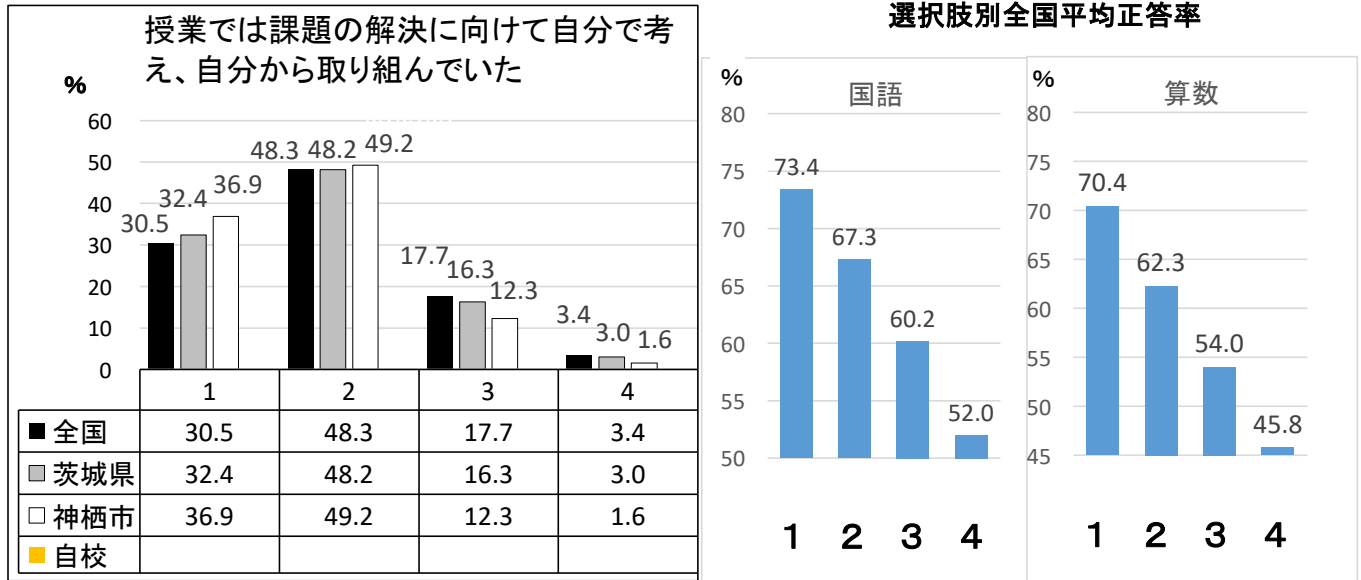


# 全国学力・学習状況調査の結果から見える学習・生活習慣と学力の関係

## 質問紙調査分析1(小学校)～質問紙の傾向と正答率～

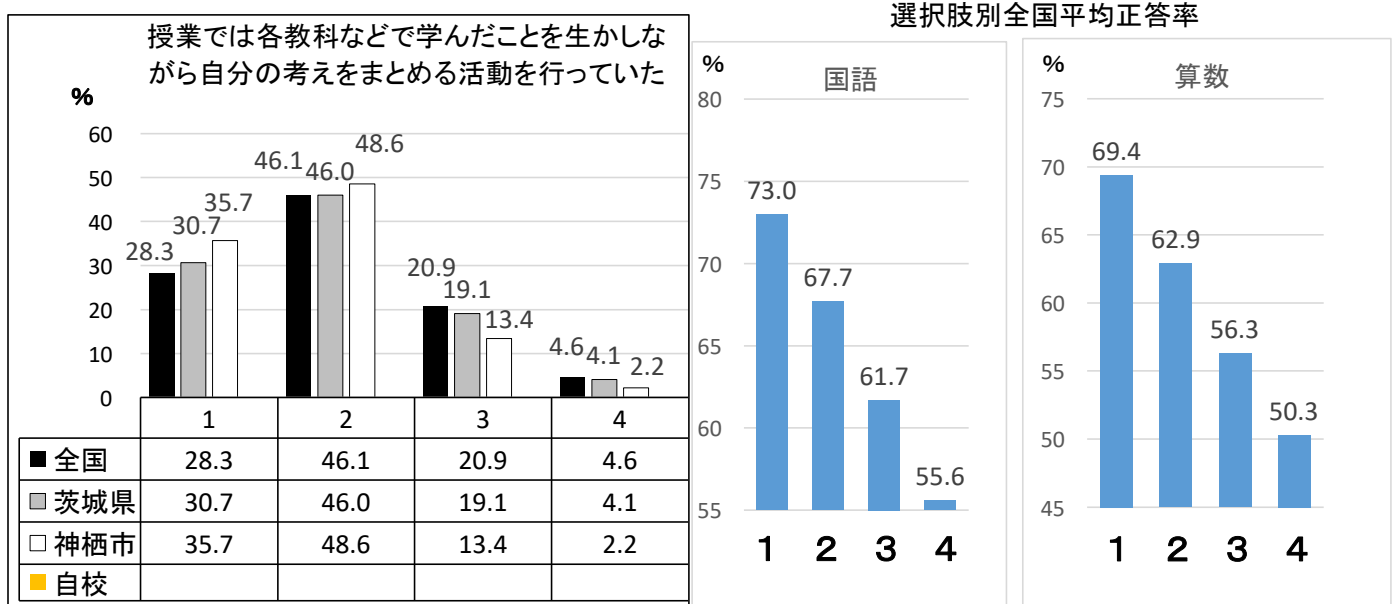
【選択肢】 1当てはまる 2どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4当てはまらない

【33】「5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した神栖市の児童の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した児童は全国的に正答率が高い傾向がみられます。



神栖市の児童は、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した割合が86.1%で全国と比べて7.3ポイント高く、正答率も高くなっています。「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した神栖市の児童の割合は76.6%で、全国と比べると5.9ポイント高くなっています。これらのことから、自分で考えて、計画し取り組む経験を積んだ児童は学び方が身に付き学力が保証される傾向があります。

【34】「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した神栖市の児童の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した児童は全国的に正答率が高い傾向がみられます。

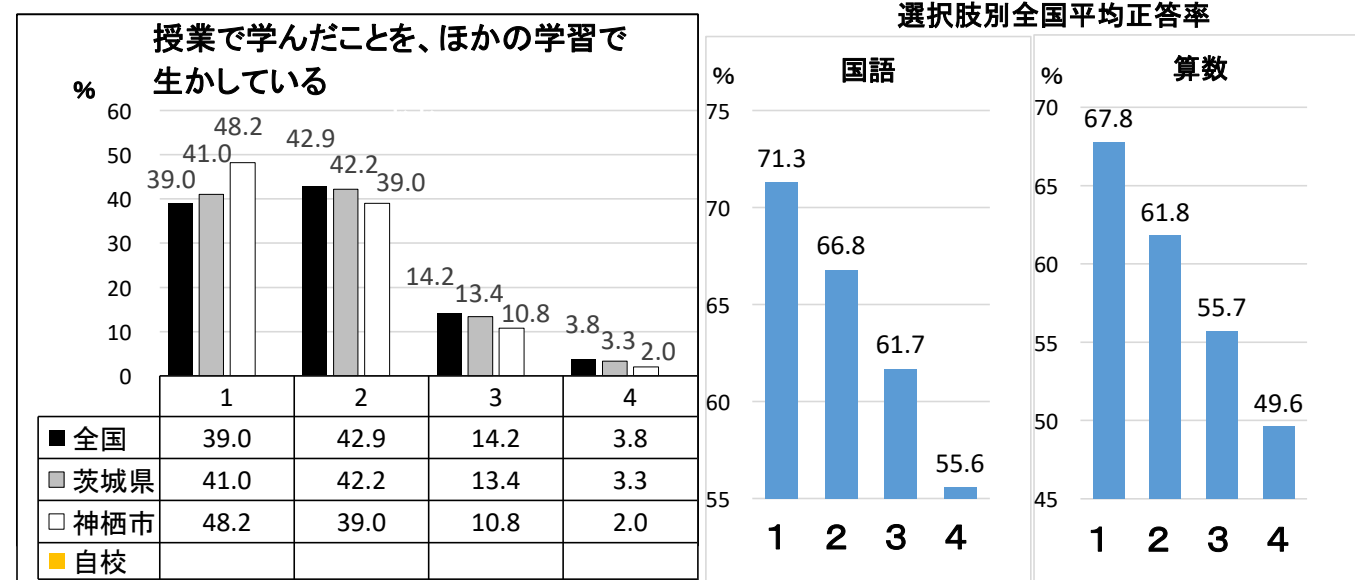


神栖市の児童は、「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した割合が84.3%で、全国と比べて9.9ポイント高く、正答率も高くなっています。「発表する機会では、うまく伝わるように工夫する」と回答した神栖市の児童は69.2%と全国より6.0ポイント高くなっています。これらのことから、工夫して自分の考えをまとめ伝える活動は学力を保證する手立ての一つと考えられます。

質問紙調査分析2(小学校)～質問紙の傾向と正答率～

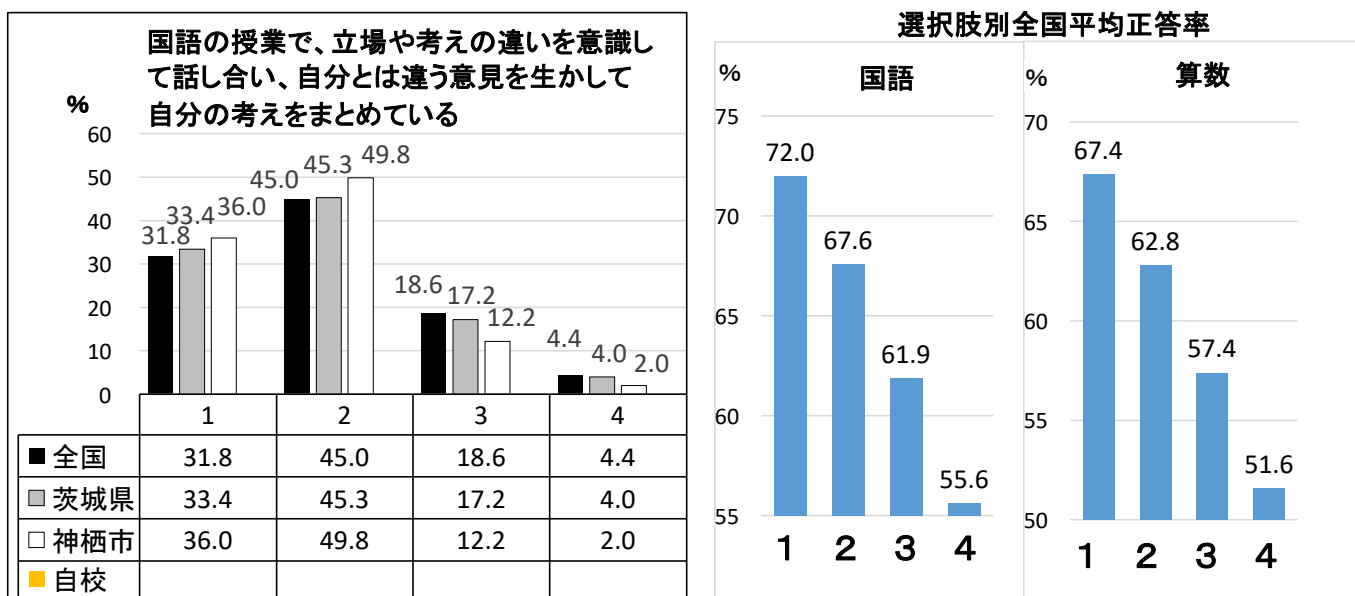
【選択肢】 1当てはまる 2どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4当てはまらない

【38】「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と回答した神栖市の児童の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した児童は全国的に正答率が高い傾向がみられます。



神栖市の児童は、「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と回答した割合が、87.2%で全国と比べて5.3ポイント高く、正答率も高くなっています。また、「分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答した神栖市の児童は、84.0%で全国と比べ6.6ポイント高くなっています。これらのことから、学んだことを活用していると実感する授業の実践が学力の保証につながると言えます。

【48】「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている」と回答した神栖市の児童の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した児童は全国的に正答率が高い傾向がみられます。

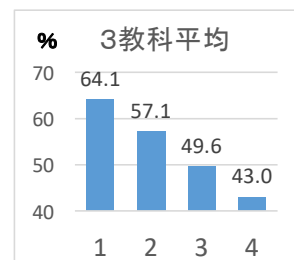
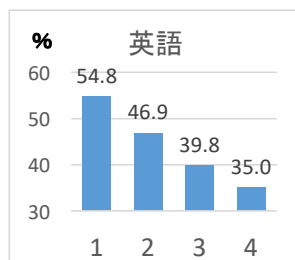
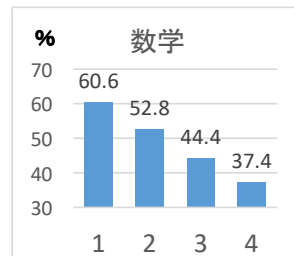
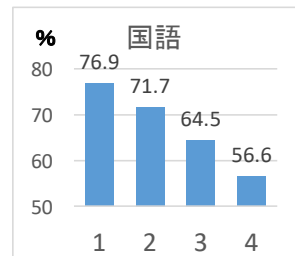
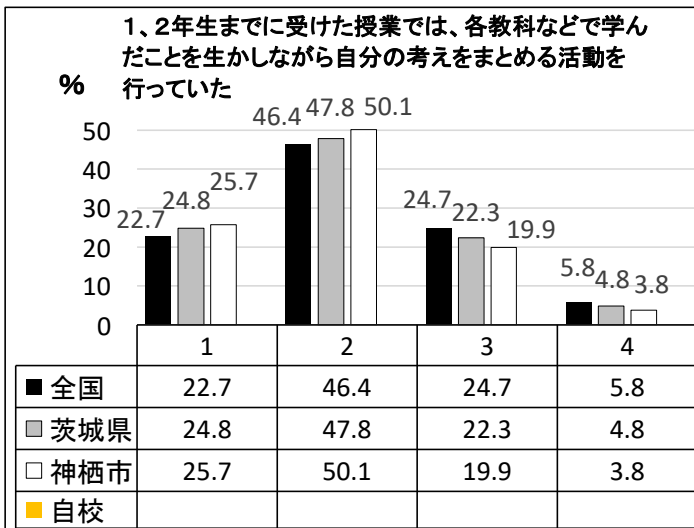


神栖市の児童は、「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている」と回答した割合が85.8%で全国と比べて9.0ポイント高く、正答率も高くなっています。また、「自分と違う考えについて考えるのは楽しい」と回答した神栖市の児童は82.2%で全国より6.7ポイント高くなっています。これらのことから、多様な考えを交流する授業の実践が学力を保証する一つの手立てと考えられます。

質問紙調査分析3(中学校)～質問紙の傾向と正答率～

【選択肢】 1当てはまる 2どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4当てはまらない

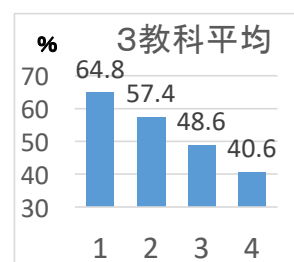
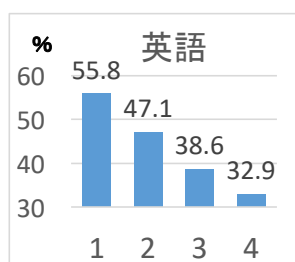
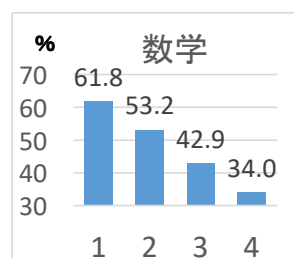
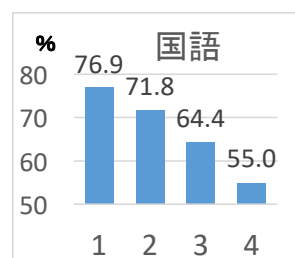
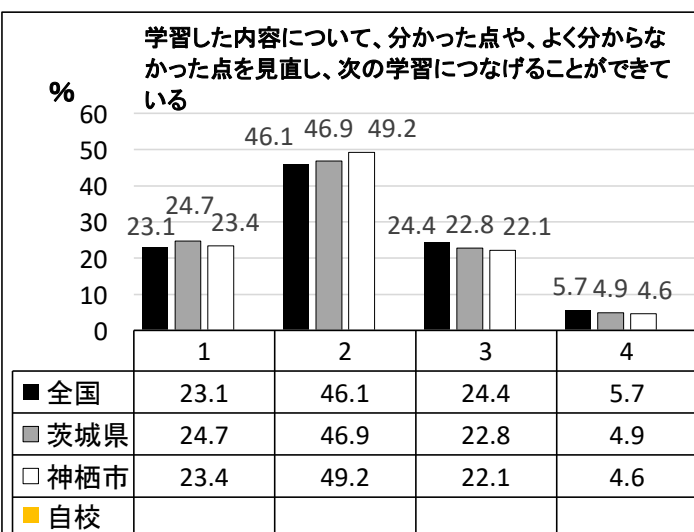
【38】「(1、2年生までに受けた)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した神栖市の生徒の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した生徒は全国的に正答率が高い傾向がみられます。



神栖市の生徒は、「(1、2年生までに受けた)授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した割合が75.8%で全国と比べて6.7ポイント高く、正答率も高くなっています。

学校質問紙調査の結果では、「前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けていた」と回答した神栖市の中学校の割合が100%で、全国と比べて21.4ポイント高くなっています。今後も、新たに出会う学習課題も、各教科等で身に付けた知識を使って考えれば解決できる経験を授業の中で積み重ねることが大切です。

【41】「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した神栖市の生徒の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した生徒は全国的に正答率が高い傾向がみられます。

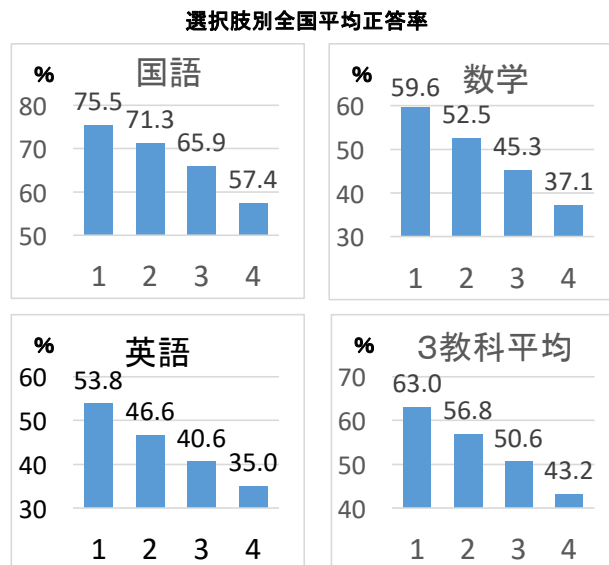
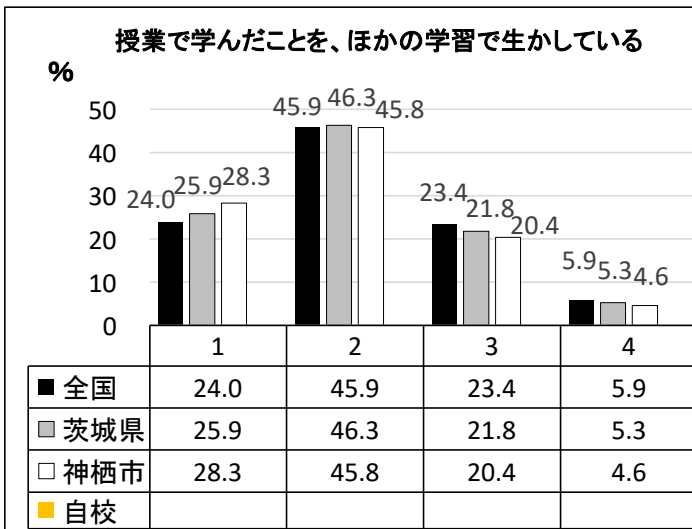


神栖市の生徒は、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した割合が72.6%で全国と比べて3.4ポイント高く、正答率も高くなっています。毎授業の中で、何を学んだか、どのように学んだか、何ができるようになったかなど学習過程を振り返ることが大切です。また、分からなかった点を補充し、理解してから、次の学習につなげることでさらに学力の伸びが期待できます。

質問紙調査分析4(中学校)～質問紙の傾向と正答率～

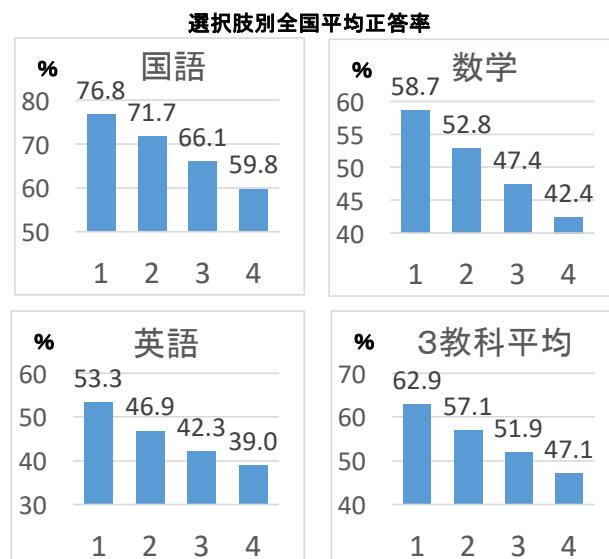
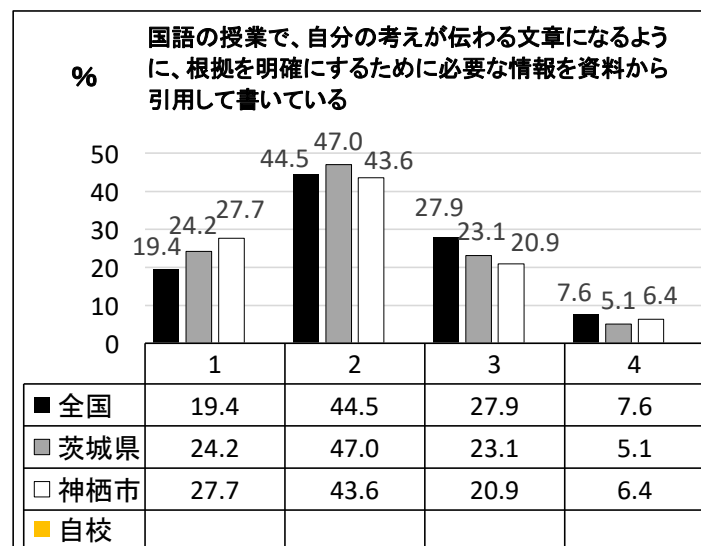
【選択肢】 1当てはまる 2どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4当てはまらない

【42】「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と回答した神栖市の生徒の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した生徒は全国的に正答率が高い傾向がみられます。



神栖市の生徒は、「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と回答した割合が、74.1%で全国と比べて4.2ポイント高く、正答率も高くなっています。教師は、生徒が各教科の授業で学んだことをほかの教科で関連付けられるように、意図的・計画的な声掛けをすることが大切です。また、各教科の授業の振り返りにおいて、学習した内容がほかの教科で学習した内容とどのように関連しているかを考えられるようにすることが大切です。

【53】「国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いている」と回答した神栖市の生徒の割合は、全国より高い傾向がみられます。また、そのように回答した生徒は全国的に正答率が高い傾向がみられます。



神栖市の生徒は、「国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いている」と回答した割合が71.3%で全国と比べて7.4ポイント高く、正答率も高くなっています。国語だけではなく、各教科の授業の中で文章、グラフ、表、図などの資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書かせることが大切です。